

# 令和3年度第1回県立高校将来構想検討協議会における協議の概要について

## 1 開催日時、会場、会議形式

令和3年5月31日（月）午後3時～午後5時  
県庁4階 共用第2会議室（オンライン会議）

## 2 協議会の概要

### （1）会長、副会長選出

会長 鷹岡 亮（国立大学法人山口大学教育学部学部長）  
副会長 宇佐美理世（リソラ社会保険労務士法人代表）

### （2）山口県における県立高校の現状について

中学校卒業生数の推移や本県高等学校の現状、再編整備の状況、中学生の進路希望等について、資料をもとに事務局が説明し、協議

### （3）教育を巡る国の動き、第2期将来構想における取組状況と課題について

新学習指導要領や中教審答申等、現行将来構想の取組状況等について、資料をもとにシンクタンク（株式会社日本総合研究所）が説明し、協議

### （4）次期県立高校将来構想の策定について

構想の策定趣旨、検討事項、スケジュール、構成案等について、資料をもとに事務局が説明し、協議

### （5）まとめ

今回はめざすべき県立高校像、教育活動、教育環境等について協議をする予定

## 3 委員からの意見

- 未来を生きる子どもたちに求められる資質・能力が、まさに社会人に求められる力でもある。小中高大だけでなく、社会全体を通して育てていくべきである。
- 次期県立高校将来構想の構成案については、多くの委員の意見が反映されるとよい。
- 普通科の生徒も、社会や地域の課題を解決したいと思っているため、生徒の将来につながる学習ができる学校が必要である。
- 中山間地域と都市部の地域で特徴が異なるため、子どもたちにとってどのような学校の在り方が望ましいのかを考えていかなければならない。
- 「高校における特別支援教育の充実」または「インクルーシブ教育システムの構築」といった視点の項目を入れた方がよい。
- 普通科を希望する中学生が多い中、山口県は工業科を多く設置していると感じる。
- 生徒の希望に添う形で、学校・学科の在り方を検討してほしい。